

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	き・き（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年1月25日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動ルームが区切られていないからこそ、日常と変わらない環境の中で集中して取り組んだり、個別活動をしている。 1日の中で個別、集団と2つの経験ができる。	一人ひとりに合わせた声かけ、落ち着けるような環境づくりをしている。 スタッフ全員で子ども一人ひとりの情報共有を行い、担当を決めず、みんなが関わりいろいろな視点から見られるようにしている。	保護者との面談の機会を増やし、リアルタイムでの困り感などを共有し、療育につなげていけるようにしたい。 教材を増やし、幅広い年齢で利用できるよう工夫したい。
2	保護者へ、アプリ（コノベル）を利用し、活動内容の報告が療育を利用したその日にできる。	見てわかるよう写真を送付している。 個別活動は、ねらいを記入している。またもう一步の課題やアドバイスも添えて報告している。	スタッフ全員が書けるようになる。 個人的に支援のスキルアップをしたい。
3	アットホームな感じで目線が温かいスタッフが多い。 個々に合わせた声かけや、程よい距離感など愛着面などでのスキルが高いスタッフが多いこと。	まずは信頼関係を小さいこと、細かいことでも受け止めることから始め、変化に気づけるようスタッフ間での共有をしている。	課題に対してスモールステップ、ステップアップと段階を踏んで専門的に支援できるまでの細かなスキルアップが必要。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な特性の子が来所しているが、クールダウンが出来る場所の提供が難しい。	個別活動などで、2～3名見る時もあり、それぞれに合わせられると、そうでない時が出てきている。	それぞれの課題に合わせた教材作りをしたい。
2	専門的な支援に弱い。	保育現場、医療現場を経験してきたスタッフはいて課題に沿った丁寧な支援は出来ているが、言語や作業療法、心理などの専門的に細かい視点からの支援が弱い。	専門職のスタッフの増員ができないか。
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	き・き (児童発達支援)
------	--------------

公表日 2026年4月2日

利用児童数 23

回収数 13

	チェック項目	どちらとも いい/悪い				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いい/悪い	いい	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1				
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域での子どもと活動する機会がありますか。	10	1		2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	12			1		
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12			1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
	非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13				
24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		12			1		
25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		13					
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		13					
満 足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	29 事業所の支援に満足していますか。	13				・日頃の支援に心から感謝しております。	

